

道路が拓く わかやまの未来

けんちょうどうろせいさくか
県庁道路政策課 ☎073-441-3096
けんちょうどうろけんせつか
県庁道路建設課 ☎073-441-3095



高速道路ネットワークの早期整備

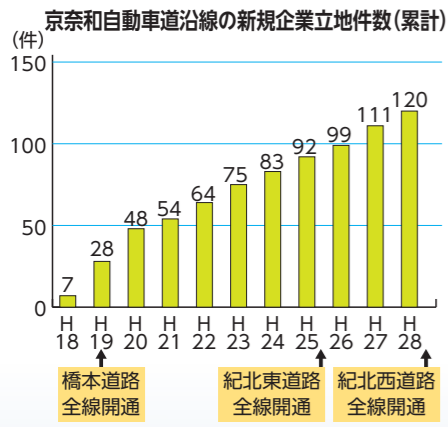
平成27年開催の紀の国わかやま国体・大会に合わせ紀勢自動車道がすさみ町まで伸び、直近では、京奈和自動車道が阪和自動車道と接続し、和歌山県と大阪府を繋ぐ第二阪和国道全線や鍋谷峠道路が開通するなど、ここ数年で本県の道路ネットワークが着実に進展しました。

本県が将来にわたり発展し続けるため、また大規模災害に備えるために、高速道路や幹線道路のさらなる整備を進めています。これにより、県内主要都市間の2時間での移動や県内各地のどこからどこへでも概ね3時間での移動の実現をめざします。

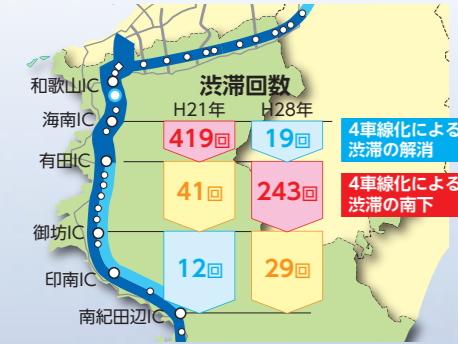
県では、企業立地や観光振興、農林水産業の振興など将来のチャンスを保障する「チャンスの道」として、また南海トラフ巨大地震など大規模災害に備え、迅速な救急・救援を可能にする「命の道」として高速道路の早期整備に取り組んでいます。

現在は、近畿自動車道紀勢線において、すさみ串本道路や新宮紀宝道路の事業が進められるとともに、(仮称)和歌山南スマートICの設置や有田・南紀田辺間の4車線化に向けた工事が進められるなど、紀伊半島一周高速道路の実現に向けて着実に整備が進められています。

道路整備による効果



近畿自動車道紀勢線4車線化前後の渋滞回数



命の道

白浜町消防本部すさみ消防署
救急救命士 稲垣健太さん

高速道路は、すさみ町から田辺市内の医療機関への転院搬送時間を国道42号利用より10分近く短縮するなど、一刻一秒を争う現場で患者の命を救うことにつながり、またスムーズな走行により患者への負担も軽減しました。さらに応援が必要な大事故発生時には、各署からの到着が早く迅速な対応にもつながっています。



チャンスの道

(株)梅丹本舗
製造統括部長 階元謙一さん

梅肉エキスの原材料である梅の産地みなべ・田辺と販売拠点である大阪の中間に位置する紀の川市に本社・工場を移転しました。今回の京奈和自動車道の県内全線開通によりアクセスが向上し、今後、さらに販路・受注機会の拡大につながるといいます。